大江山（十訓抄）

年　組　番

得点　／30

問一　次の語句を現代仮名遣いで書きなさい

①　きやう　（　　）　②　たはぶれて　（　　）

③　わづかに　（　　）　④　まゐる　（　　）

⑤　かかるやうやはある　（　　）

問二　次の漢字の読みを現代仮名遣いを用いて平仮名で書きなさい。

①　歌合　（　　）　②　内侍　（　　）

③　局　（　　）　④　御簾　（　　）

⑤　直衣　（　　）

問二　次の傍線部の意味を答えなさい。

①定頼中納言、たはぶれて、　（　　）

②いかに心もとなくおぼすらむ。　（　　）

③思はずにあさましくて、　（　　）

④歌詠みの世におぼえ出できにけり。　（　　）

問三　次の傍線部の品詞名と活用の種類を、例にならって答えなさい。

（例）丹後に下りけるほどに　（動詞・ラ行四段活用）

①京に歌合ありけるに、　（　　）

②小式部内侍、歌詠みにとられて　（　　）

③いかに心もとなくおぼすらむ。　（　　）

④思はずにあさましくて、　（　　）

⑤歌詠みの世におぼえ出できにけり。　（　　）

⑥知られざりけるにや。　（　　）

大江山（十訓抄）

☆解答例と配点

問一　①きょう　②たわぶれ　③わずかに　④まいる　⑤かかるようやはある〈１点×５〉

問二　①うたあわせ　②ないし　③つぼね　④みす　⑤なおし〈１点×５〉

①ふざけて　②どんなに待ち遠しく　③驚きあきれて　④評判（が）〈２点×４〉

問三　①動詞・ラ行変格活用　②動詞・ラ行四段活用　③形容詞・ク活用　④形容詞・シク活用　⑤動詞・カ行変格活用　⑥動詞・ラ行四段活用（各完全答）〈２点×６〉

（計30点）